

地域とともに輝く杳見っ子

敦賀市立杳見小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

| 項目 | 回数 |
|---------------|----------|
| 地域・学校協議会 | 3回 |
| 中学校区を単位とした協議会 | 3回 |
| 地域及び家庭への学校公開 | 7回(のべ)7日 |

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

| | |
|------------------|-----|
| 講師・ゲストティーチャー | 32人 |
| 授業ボランティア(含:低ボラ) | 2人 |
| 登下校支援ボランティア | 32人 |
| その他(読み聞かせボランティア) | 1人 |

(3) 特色ある活動

テーマ 「ふるさと教育」

具体的活動内容

○地域の文化・歴史を生かす活動〔地域の伝統行事への参加〕

地域・学校協議会が中心となり、杳見地区で毎年5月に行われている「御田植祭り」(県無形民俗文化財指定)の由来や内容などについて児童にお話しをしていただいた。また、舞い方の指導もしていただいた。この祭礼は豊作を願う祭りであり、杳見地区あげての祭りである。児童も練習に参加して、王の舞や獅子舞を舞う。また、祭礼に使用する「御幣」の作り方を地域の方に教えていただき、地域の方と一緒に作った。地域の人と共に伝統行事を守り、引き継いでいくことへの意識を醸成している。

○地域の自然を生かす活動〔米作り〕

地域・学校協議会で米作り体験の協力者を探していただき、米作りを行った。地域・学校協議会や地域の方の指導のもと、最新式の大形田植え機で田植えを一緒にさせていただいた。もちろん手植え体験もし、秋にはコンバインでの稲刈りも体験した。もち米でおはぎを作って収穫を祝った。昔ながらの手作業体験も大切だが、機械化された農業も体験をすることで子どもたちの農業への関心が高まった。

○学校と地域の交流を図る活動〔ゲストティーチャー〕

地域・学校協議会で、地域の達人について情報交換を行った。その情報をもとに、生活科、図工科、総合的な学習の時間等に、多くのゲストティーチャーに来ていただき、昔の道具の使い方、合唱、水彩画、書道などを教えていただいたり交流を深めたりした。「書に学ぶ」では、全校児童を対象に、体育館で筆の特徴や基本の練習が大切なことなどについてお話を聞き、その後、実際に大筆での揮毫を見せていただいた。初めて見る大筆での迫力のある書に感動する体験となった。また、老人クラブの方からは、低学年児童が「昔の道具」や「昔の遊び」についてお話しをしていただいた。柳行李、蓄音機、手桶などの昔の道具や、コマ、メンコ、おはじき、お手玉などの昔の遊びについて教えていただいた。地域の方々と交流して楽しいひとときを過ごした。



成果と課題

・地域・学校協議会での話し合いをもとに、ゲストティーチャーを招き、体験活動を充実することで、地域への愛着が高まった。また、地域の方と共に活動する機会を多くすることにより、学校の活動に参加していただける方が増えてきた。

・地域の自然、文化、人材等についてさらに発掘を行い、人とのかかわりを重視した体験活動を充実させることにより、地域に親しみ、ふるさとに愛着や誇りを持つ児童を育成していきたい。

